



どうする
戦国
マルシェ

トークショーにあわせ 市役所前でマルシェを開催

(一社) 近江八幡観光物産協会が、全国から訪れるトークショーの観客などへのおもてなしとして、「どうする戦国マルシェ」を開催。市内外から 30 店舗が参加し、店頭には近江八幡や戦国にちなんだ商品が並び、市魅力発信課による近江牛の試食コーナーや、信長の館、城なび館などが織田信長や戦国関連グッズを販売しました。また、3 組の大道芸人がジャグリングや腹話術などを披露し、会場を盛り上げました。

信長の生きた安土に思いを馳せる

天下布武を掲げ、乱世を駆け抜けた織田信長。
信長が築いた城や文化が彩る地を巡り、その歴史ロマンに触れてみませんか。



大手道



天主跡



1/20 安土城(内藤昌 復元)



屏風絵風陶板壁画(画/宇田妙子)



原寸大の安土城天主(内藤昌 復元)



VR 安土城



第2常設展示室



安土城跡出土資料(滋賀県蔵)

安土城跡

信長が約 6 年の歳月をかけて築城し、絢爛豪華な城郭だったと伝えられる安土城。山頂に天主、御殿が立ち並び壮麗な城でした。現在は、重厚な石垣や礎石が残り、国の特別史跡に指定されています。

■ 安土町下豊浦 6371
◎ 大人 700 円・高校生以下 200 円
◎ 午前 8 時 30 分～午後 5 時
(入山は午後 4 時まで)
年中無休
☎ (46)6594

安土城郭資料館

JR 安土駅南口に隣接する同館では、内部まで精密に作られた 20 分の 1 スケールの安土城の模型を展示。黄金に輝く屏風絵風の陶板壁画には、安土城や城下の様子が描かれています。信長グッズや喫茶コーナーもあります。

■ 安土町小中 700
◎ 大人 200 円・学生 150 円・小人 100 円
◎ 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
月曜休
☎ (46)5616

安土城天主 信長の館

1992 年の「スペイン・セビリア万博」へ出展された原寸大の安土城天主(5・6 階部分)を展示。館内の 200 インチ大画面シアターでは VR 技術で蘇った安土城や家臣の屋敷、城下町の散策を楽しめます。

■ 安土町桑実寺 800
◎ 一般 610 円・学生 350 円・小中学生 170 円
◎ 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで)
月曜休
☎ (46)6512

県立安土城考古博物館

第 2 常設展示室の主なテーマは、安土城と信長。安土城跡から発掘された出土品や、信長ゆかりの品々を鑑賞できます。9 月 18 日まで企画展「発掘された近江Ⅲ—信長・光秀・秀吉・家康の城—」を開催中。

■ 安土町下豊浦 6678
◎ 大人 600 円、高大生 360 円
※小中生、県内在住の 65 歳以上の人は無料
◎ 午前 9 時～午後 5 時
(入館は午後 4 時 30 分まで) 月曜休
☎ (46)2424

7月/16日

大河ドラマ 「どうする家康」 トークショー in 近江八幡



柘植 伊佐夫さん
(「どうする家康」人物デザイン監修)

岡田 准一さん
(「どうする家康」織田信長役)

磯 智明さん
(「どうする家康」制作統括)

上原 あずみさん
(NHK 天津放送局リポーター)

徳川家康の生涯を新たな視点で描く、現在放送中の NHK 大河ドラマ「どうする家康」。前半最大の見どころとなる第 27 回「安土城の決闘」、第 28 回「本能寺の変」の放送を前に、織田信長役を演じる俳優の岡田准一さんらをお招きし、制作の舞台裏を語るトークショーを、市と NHK 天津放送局が主催し開催しました。会場の市文化会館には、全国から約 1000 人の観客が訪れました。

岡田さんの演技や滋賀への思いが詰まったトークショー



岡田さんが演じる信長のシーンをまとめた VTR が会場に流れると、岡田さんは「信長は家康(松本潤さん)の兄のような師匠のような存在で、壁でもあります。『圧』を出すことを意識して演じました」と振り返りました。

柘植さんが信長の人物デザインについて当初、うつけ者の赤い信長像だったことを明かすと、岡田さんは「赤こんにゃくの赤だと思っていました。体に優しいです」と返し、会場が笑いに包まれる一幕も。

主演の松本さん演じる家康との印象に残ったシーンとして、第 27 回で信長が家康を安土城に招き対峙するシーンを挙げ、「松本さんをどう揺り動かすか」を意識して演じていた岡田さんが振り向くと、松本さんが大泣きしており、想定外のシーンとなったそう。また、第 4 回で信長と家康が相撲を取るアクションシーンの振り付けを岡田さんが担当し、制作側と一体となって現場の雰囲気を作り上げたエピソードを披露しました。

岡田さんは第 27 回について「天下人という立場で生き、強引に物事を進めてきた信長ですが、このシーンでは家康が『この人はもう限界なんだ』と感じるような場面にできれば、と思って演じました」と話し、第 28 回について「セクシーで悲しさのある霸王を演じようとプランを練りました。天下人の中に住まうさみさが詰まった信長の最期になったと思います」と話しました。

岡田准一さんから 近江八幡市民の皆様へメッセージ



滋賀が好きで、一年に一回は訪れます。中でも近江八幡市には、これまでに映画の撮影などで訪れています。自然がとても豊かで、昔ながらの風情ある街並みがあり、近江牛やお米もおいしくて、食もとても豊か。たくさんのこだわりのある方々が、自然に根ざした

生活を送られているのだと思います。近江八幡市は歴史と文化の香る街で、とても好きな場所です。

今回は「家康から見た信長」として、濃いめにお芝居をしました。市民の皆さんが愛する信長を演じるということ、この場所に信長がいたんだということを肝に銘じながら、いつか「自分が思う信長像」も演じてみたいと思っています。